

令和5年度第2回利根沼田地域保健医療対策協議会 議事概要

1 日 時 令和5年11月27日（月）19時～20時

2 場 所 利根沼田振興局庁舎1階101会議室

3 出席者 委員17名（出席者は別紙のとおり）

4 概 要

（1）開会（進行：利根沼田保健福祉事務所 企画福祉課長）

（2）あいさつ

ア 利根沼田保健福祉事務所長

イ 利根沼田地域保健医療対策協議会長（沼田市長）

（3）議事（進行：協議会長）

ア 第9次群馬県保健医療計画について（資料1-1、1-2により事務局から説明）

【質疑等】

●委員

説明にあった沼田圏域における既存病床数及び医師数について、実際に地域で感じている実感とは乖離を感じる。数字の根拠は、どのようなところから来ているか。

●事務局

既存病床数については、県で毎月確認している数字である。具体的には、許可病床数から当てはまらないものを除いた数値となる。

医師数については、国の三師統計の数字に、一部補正を加えて算出された数字である。

●委員

当圏域における医師数に関して、手続き上は医師届を行っていても、高齢等により現役を退き、実際には診療にあたっていないものもいる。対象者の正確な数値を補足する方法はないのか。

●事務局

この点については、従前から質問を頂き、県としても問題意識は持っているが、簡単に対応することは困難というのが正直なところである。今後検討していきたい。

●委員

計画における必要病床数の試算に関して、病床数については、全体として減らす方向で計画上も検討されているのかと思うが、現にコロナなどの新興感染症の状況を踏まえると、一方で感染症病床を増設してもらいたいとの依頼があるのも事実である。病床の余力という点については、試算上、どのように考えているのか。

●事務局

余力に関しては、二つの考え方がある。1点目であるが、基準病床数算出にあたり、一般病床・療養病床に関しては、病床利用率で割り返し算出することにより、余力を考慮する形となっている。2点目の感染症病床に関しては、全県で52床を感染症に備えて空けているものであるが、これとは別に、コロナ等の新興感染症に関しては、医療機関と県との間で協定締結することで、ベッドを確保して頂き、これが感染症への備えとしての余力と考えられる。

(4) 報告事項

ア 第9期群馬県介護保険事業（支援）計画について（資料2により、県介護高齢課長から説明）

【質疑等】

●川場村（追加報告）

県介護高齢課の配布資料には掲載されていないが、令和7年度の地域密着型サービスのなかで、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が1件予定されている。補足で報告させて頂く。

イ 在宅医療において積極的役割を担う医療機関の選定について（資料3により、県健康長寿社会づくり推進課から説明）

(5) その他（(3) 議事中のアに関する質疑の中で、委員から質問のあった沼田圏域における既存病床数に関して、事務局から補足説明）

●事務局

先ほどの質問に関連して、参考までに、令和3年度の病床機能報告における当圏域の病床データを申し上げるが、規模感を掴んで頂ければ幸いである。（口頭で、管内7病院及び有床診療所の病床数を報告）

(6) 閉会（事務局から事務連絡）

●事務局

本日の議題である「第9次群馬県保険医療計画」に関して、本日の説明や質疑等を踏まえて、意見のある場合は、配布用紙により、12月8日（金）までに事務局あて提出願いたい。

（以上）